

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

09/409894
U.S. PRO
JC894 16/01/99

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application:

1998年10月 2日

願番号
Application Number:

平成10年特許願第280884号

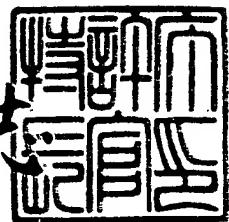
願人
Applicant(s):

三洋電機株式会社

1999年 8月24日

特許庁長官
Commissioner
Patent Office

伴佐山建志



出証番号 出証特平11-3059223

【書類名】 特許願
【整理番号】 NEB0983259
【提出日】 平成10年10月 2日
【あて先】 特許庁長官 殿
【国際特許分類】 G06F 15/60
【発明の名称】 画像情報提供装置と画像情報提供方法及び画像情報提供
装置用プログラムを記憶した媒体
【請求項の数】 4
【発明者】
【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式
会社内
【氏名】 泰間 健司
【発明者】
【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式
会社内
【氏名】 山田 晃弘
【発明者】
【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式
会社内
【氏名】 榎本 哲也
【発明者】
【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式
会社内
【氏名】 天野 隆平
【発明者】
【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式
会社内
【氏名】 竹本 賢史

【特許出願人】

【識別番号】 000001889

【氏名又は名称】 三洋電機株式会社

【代表者】 近藤 定男

【代理人】

【識別番号】 100076794

【弁理士】

【氏名又は名称】 安富 耕二

【連絡先】 電話 03-5684-3268 知的財産部駐在

【選任した代理人】

【識別番号】 100107906

【弁理士】

【氏名又は名称】 須藤 克彦

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 013033

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9702954

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像情報提供装置と画像情報提供方法及び画像情報提供装置用プログラムを記憶した媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 静止画及び動画等の画像情報を記憶する素材記憶手段と、画像情報を表示する表示手段と、該表示手段に所定の大きさで表示させる表示制御手段と、前記素材記憶手段に記憶した画像情報を縮小し、複数画像を一覧形式で前記表示手段に表示する一覧表示制御手段と、を備え、前記一覧表示制御手段は、縮小する画像情報が動画か静止画かを判断する判断部と、該判断部の判断結果、静止画の場合画像を縮小表示するための処理を行う静止画縮小部と、前記判断部の判断結果、動画の場合画像を縮小表示するための処理を行い、この状態で動画を駆動させる動画縮小部と、前記静止画縮小部及び動画縮小部で処理された画像情報を前記表示手段に一覧表示させる一覧表示部と、を有することを特徴とする画像情報提供装置。

【請求項2】 画像を嵌め込んだテンプレートを1ページとし、該テンプレートを複数ページ関連付けて集合させたフォルダを、1ページずつ前記表示手段に表示させるフォルダ表示手段と、前記表示手段に一覧表示した画像情報を直接指定してテンプレートに取り込む編集手段と、を備えたことを特徴とする請求項1に記載の画像情報提供装置。

【請求項3】 静止画及び動画等の画像情報を記憶する素材記憶手段と、画像情報を表示する表示手段と、該表示手段に所定の大きさで表示させる表示制御手段と、を備え、前記素材記憶手段から画像情報を読み出す第1ステップと、読み出した画像情報が動画か静止画かを判断する第2ステップと、該第2ステップでの判断結果、静止画の場合画像を縮小表示するための処理を行う第3ステップと、前記第2ステップの判断結果、動画の場合縮小表示するための処理を行う第4ステップと、第3ステップで縮小表示処理した状態で動画を駆動する第4ステップと、前記第3ステップ及び第4ステップで処理された画像情報を前記表示手段に一覧表示させる第5ステップとからなることを特徴とする画像情報提供方法。

【請求項4】 素材記憶手段に記憶した静止画及び動画等の画像情報を読み出し一覧表示させる画像情報提供装置用プログラムを記憶した媒体において、素材記憶手段から画像情報を読み出す読み出部と、該読み出部で読み出した画像情報が動画か静止画かを判断する判断部と、該判断部の判断結果、静止画の場合画像を縮小表示するための処理を行う静止画縮小部と、前記判断部の判断結果、動画の場合画像を縮小表示するための処理を行い、この状態で動画を駆動させる動画縮小部と、前記静止画縮小部及び動画縮小部で処理された画像を表示手段に一覧表示させる一覧表示部と、を実行することを特徴とする画像情報提供装置用プログラムを記憶した媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、スキャナやカメラ等の画像入力装置から入力された静止画やコンピュータで作成された動画等の画像情報を提示する画像提示装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来は、たとえば特開平5-290143号公報には、プレゼンテーション実行時にページ移動を容易に間違いなく行える画像情報提示装置が記載されている。

【0003】

さらに詳述すると、このものは、プレゼンテーション実行時に表示する画像サイズのフルサイズ画像と画像検索時に表示する画像サイズに縮小した一覧画像とで構成される画像情報とプレゼンテーション実行時に表示する画像名とその順番を記述したシナリオ情報を記憶する情報記憶手段と、上記画像情報を表示するための画像表示手段と、上記シナリオ情報を従って、上記画像情報を順番に表示する中央制御装置と、画像情報提示途中の任意の時点に、上記一覧画像を一覧表示し、その一覧表示画像から所望の一覧画像を選択することにより、その選ばれた画像よりシナリオを続行する機能を起動する画像検索手段とから構成されたものである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、プレゼンテーションに使用される画像情報は静止画ばかりでなく、動画も使用される。前述の従来技術では、縮小されて一覧表示される一覧画像（以下、サムネイルと呼ぶ）は、すべて静止画で表示する構成となっている。つまり、動画の画像情報は、動画を表わす静止画が他の静止画とならべて表示され、この静止画を選択することで、フルサイズ画面に切り替わり、動画表示を行うのである。

【0005】

したがって、一目でどの画像が動画か静止画かが判別できず、いちいち動画かどうか確認する操作が必要であった。また、動画を直接見れないので、他の静止画等の画像情報と見比べて選択することができず、選択作業に時間を費やしていた。

【0006】

本発明は、斯かる課題を解決するためのものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】

この発明によれば、静止画及び動画等の画像情報を記憶する素材記憶手段と、画像情報を表示する表示手段と、該表示手段に所定の大きさで表示させる表示制御手段と、前記素材記憶手段に記憶した画像情報を縮小し、複数画像を一覧形式で前記表示手段に表示する一覧表示制御手段と、を備え、前記一覧表示制御手段は、縮小する画像情報が動画か静止画かを判断する判断部と、該判断部の判断結果、静止画の場合画像を縮小表示するための処理を行う静止画縮小部と、前記判断部の判断結果、動画の場合画像を縮小表示するための処理を行い、この状態で動画を駆動させる動画縮小部と、前記静止画縮小部及び動画縮小部で処理された画像情報を前記表示手段に一覧表示させる一覧表示部と、を有することを特徴とする。

【0008】

また、画像を嵌め込んだテンプレートを1ページとし、該テンプレートを複数

ページ関連付けて集合させたフォルダを、1ページずつ前記表示手段に表示させるフォルダ表示手段と、前記表示手段に一覧表示した画像情報を直接指定してテンプレートに取り込む編集手段と、を備えたことを特徴とする。

【0009】

また、静止画及び動画等の画像情報を記憶する素材記憶手段と、画像情報を表示する表示手段と、該表示手段に所定の大きさで表示させる表示制御手段と、を備え、前記素材記憶手段から画像情報を読み出す第1ステップと、読み出した画像情報が動画か静止画かを判断する第2ステップと、該第2ステップでの判断結果、静止画の場合画像を縮小表示するための処理を行う第3ステップと、前記第2ステップの判断結果、動画の場合縮小表示するための処理を行う第4ステップと、第3ステップで縮小表示処理した状態で動画を駆動する第4ステップと、前記第3ステップ及び第4ステップで処理された画像情報を前記表示手段に一覧表示させる第5ステップとを備える画像情報提供方法を特徴とする画像情報提供方法。

【0010】

さらに、素材記憶手段に記憶した静止画及び動画等の画像情報を読み出し一覧表示させる画像情報提供装置用プログラムを記憶した媒体において、素材記憶手段から画像情報を読み出す読出部と、該読出部で読み出した画像情報が動画か静止画かを判断する判断部と、該判断部の判断結果、静止画の場合画像を縮小表示するための処理を行う静止画縮小部と、前記判断部の判断結果、動画の場合画像を縮小表示するための処理を行い、この状態で動画を駆動させる動画縮小部と、前記静止画縮小部及び動画縮小部で処理された画像を表示手段に一覧表示させる一覧表示部と、を実行する画像情報提供装置用プログラムを記憶した媒体を特徴とする。

【0011】

【発明の実施の形態】

本発明により一実施例を、以下に説明する。

【0012】

なお、以下で使用されるテンプレートとは、プレゼンテーションを行うときに

表示手段2の全面に表示される1ページの画像表示、すなわち次表示用または後表示用のボタン等の部品画像が配置され、所定位置に素材メモリ1内の画像情報が取り込まれた飾り枠をいう。ただし、画像が取り込まれていない状態でもテンプレートと呼ぶ場合がある。

【0013】

また、プレゼン資料とは、前記テンプレートを階層構造に構成して関連付けたテンプレートの集合体をいう。

【0014】

図1において、1はプレゼンテーションの素材となる静止画1aや動画1bの画像情報を記憶している素材記憶手段となる素材メモリ、2はCRT等の表示手段、3は該表示手段2に初期画面情報を出力して初期画面を表示させる初期画面表示手段である。

該初期画面表示手段3は、図7に示すような初期画面12を表示手段2に表示させる。この初期画面12では、プレゼンテーションの表示を開始させるモードに進むプレゼンボタン13と、素材メモリ1に記憶している画像情報をすべて一覧表示させるモードに進む素材一覧表示ボタン14と、表示動作終了させる表示終了ボタン15とが、配置されている。該各ボタン13、14、15は、囲われた領域内を後述する位置指定手段8で指定したと位置検出手段9で検出したとき、各機能が動作するように設定されている。なお、以後、この動作を単に、位置指定手段8で指定すると呼ぶ。

【0015】

4は指定された画像情報を素材メモリ1から読み出し、指定された順序でかつ指定された画面サイズで表示手段2に表示させるフォルダ表示手段となるプレゼン表示制御手段、5は前記素材メモリ1内の画像情報を縮小し、表示手段2に一覧表示させる一覧表示制御手段である。

【0016】

該一覧表示制御手段5は、図2に示すように、素材メモリ1から画像情報を読み出す読み出部51と、該読み出部51で読み出した画像情報が静止画か動画かを判断する判断部52と、素材メモリ1の静止画1aを縮小処理する静止画縮小部5

3と、素材メモリ1の動画1bを縮小処理し、かつ動画駆動させ、繰り返し再生する動画縮小部54と、静止画縮小部53及び動画縮小部54で縮小した画像情報を表示手段2に一覧させる一覧表示部55と、を有している。

【0017】

かかる一覧表示制御手段5の動作は、まず読出部51により素材メモリ1から画像情報を読み出す。次に、判断部52で静止画か動画かを判断する。該判断部52での判断の結果、静止画なら静止画縮小部53に画像情報が送られ、一覧表示できるように縮小処理される。また判断部52で動画と判断したなら、動画縮小部54に画像情報が送られ、一覧表示できるように画像情報が縮小処理され、その動画駆動される。静止画縮小部53及び動画縮小部54で縮小された画像情報は、一覧表示部55に送られ、表示手段2で一覧表示できるように画像情報を配置し、表示させるのである。

【0018】

6は初期画面表示手段3とプレゼン表示制御手段4と一覧表示制御手段5とを駆動制御する編集手段となる表示制御手段、7はプレゼン表示制御手段4で指定し、読み出す画像情報及び表示順序を記憶するシナリオ記憶手段となるシナリオメモリ、8は表示手段2の表示面上の任意の位置を指定する位置指定手段8は該位置指定手段8で指定した位置を検出する位置検出手段、10は後述するプレゼンテーション用テンプレートのボタンや飾り枠等の部品画像情報が記憶されたパーツメモリである。

【0019】

11は前記初期画面表示手段3、プレゼン表示制御手段4、一覧表示手段5、表示制御手段6、シナリオメモリ7、位置検出手段9及びパーツメモリ11を備える制御手段である。なお、該制御手段11は、初期画面表示手段3乃至位置検出手段9の各機能を実行するプログラムがROM11aに記憶されている。

【0020】

かかる構成の動作を図3乃至図6に基づいて説明する。

【0021】

まずステップS1では、表示制御手段6が初期画面表示手段3を駆動し、図7

の初期画面12を表示手段2に表示させる。ステップS2では、プレゼンボタン9が位置指定手段8で指定されたかどうか判断する。

【0022】

ステップS3では、ステップS2でプレゼンボタン13が指定されたと判断したとき、表示制御手段6がプレゼン表示制御手段4を駆動して表示手段2へプレゼンテーションのための表示を実行させる。

【0023】

ステップS4では、ステップS2でプレゼンボタン13が指定されていないと判断したとき、一覧表示ボタン14が指定されたかどうか判断する。

【0024】

具体的には、図4に基づき以下に説明する。

【0025】

まずステップS20では、表示制御手段6がプレゼン表示制御手段4内のレジスタ（図示せず）に変数nとして1をセットする。そして、表示制御手段6はプレゼン表示制御手段4を駆動する。ステップS21ではプレゼン表示制御手段4がシナリオメモリ7からn番目、すなわち今は1番目の画像情報が記憶されている素材メモリ1内のアドレスを読み出す。ステップS22ではステップS21で読み出したアドレスに基づいてプレゼン表示制御手段4が素材メモリ1から画像情報を読み出す。

【0026】

ステップS23では、所定のテンプレート内の画像嵌め込み領域にステップS22で読み出した画像情報を嵌め込む。そして、ステップS24ではテンプレート及び画像情報を表示装置2に出力して表示させる。このとき画像情報が動画であれば、動画を駆動するように動作させる。テンプレートに静止画を嵌め込んだ画像の一例を図8に示す。

【0027】

ステップS25で次の表示に進める進みボタンを位置指定手段8で指定したかどうか判断する。もし、指示したと判断したとき、ステップS26で変数nに1を加えて、ステップS22に戻し、ステップS22乃至ステップS26をシナリ

オメモリ7に記憶された表示順番の最後に到達するまで繰り返し表示する。

【0028】

前記最後の画面に達し、そのテンプレートに配置されたプレゼン終了ボタンを位置指定手段8で指示したとき、ステップS25で次ページ進みボタンでないと判断し、ステップS27に進む。ステップS27ではプレゼン終了ボタンを指示したと判断し、プレゼン表示を終了し、ステップS3に戻り、そしてステップS1に移行して初期画面表示に切り替える。以上が、ステップS5の動作である。

【0029】

前述のステップS4で一覧表示ボタン14が指定されたと判断したとき、ステップS5では表示制御手段6が一覧表示制御手段5を駆動制御し、表示手段2に素材メモリ1内の全ての画像情報を一覧表示させる。

【0030】

具体的には、図5に基づいて以下に説明する。

【0031】

まずステップS30ではこれから作成するプレゼン資料用のテンプレートを作成し、シナリオメモリ7にプレファレンスファイルとして記憶させる。

【0032】

つまり、表示制御手段6が一覧表示手段5を動作させて、表示手段2にパーツメモリ10内に記憶した部品画像、例えば複数種類の形状や色を有するボタンや飾り枠などを一覧表示させる。操作者は、一覧表示した部品画像を見て、所望の飾り枠やボタンなどの部品画像を位置指定手段8で指定選択し、それらを所望の形態に組み合わせてテンプレートを作成する。

【0033】

作成されたテンプレートは、そのままシナリオメモリ7に記憶されないで、アドレス情報などの一種のプログラム的な記述のみを表示制御手段6がシナリオメモリ7に記憶する。例えば、表示手段2の画面を2次元座標で表わし、ボタンや飾り枠の配置する位置の座標と、そこに配置する部品画像のパーツメモリ10上に記憶されているアドレスとその表示サイズとをプレゼン資料毎にまとめて1つのプレファレンスファイルとしてシナリオメモリ7に記憶させる。

【0034】

次にステップS31では表示制御手段6が一覧表示制御手段5に一覧表示動作を指示し、一覧表示制御手段5を駆動する。そして、一覧表示制御手段5の読み出部51が素材メモリ1に記憶されている画像情報を1つ読み出す。ステップS32では、ステップS31で読み出した画像情報が静止画かどうか判断部52が判断する。ステップS32で静止画と判断すると、ステップS33で静止画縮小部53が縮小表示できるように画像情報を処理する。

【0035】

そして、ステップS34では一覧表示部55が表示手段2にステップS33で処理したサムネイル（縮小画像情報）を一覧表示させる。一覧表示の一例を図9に示す。ステップS35で読み出部51が素材メモリ1内に読み出していない画像情報があるかどうか判断し、あればステップS31に戻り、再びステップS31から実行する。

【0036】

ステップS32で素材メモリ1から読み出した画像情報が静止画でなく、動画であると判断されたとき、ステップS36に進む。ステップS36では、動画縮小部53が一覧表示するために動画を縮小表示できるように画像情報を処理する。ステップS37では一覧表示部55が表示手段2にステップS36で処理したサムネイルを表示させる。ステップS38では動画縮小部53が表示手段2に表示したサムネイルを駆動させる。

【0037】

以上ステップS31乃至ステップS38の動作を、ステップS35で素材メモリ1内に画像情報がなくなったと判断されるまで、繰り返し実行する。ステップS35で素材メモリ1内に画像情報がなくなったと判断したとき、このステップS5の動作を終了する。

【0038】

ステップS5の動作終了後、ステップS6に進み、表示手段2の一覧表示を操作者が見て、プレゼンテーションに使用する画像情報を選択し、その表示順序も指定して編集する。

【0039】

具体的には、図6に基づいて以下に説明する。

【0040】

まずステップS40ではプレゼンテーション用のテンプレートを作成し、シナリオメモリ7にプレファレンスファイルとして記憶させる。

【0041】

つまり、表示制御手段6が一覧表示手段5を動作させて、表示手段2にパーツメモリ10内に記憶した部品画像、例えば複数種類の形状や色を有するボタンや飾り枠などを一覧表示させる。操作者は、一覧表示した部品画像を見て、所望の飾り枠やボタンなどの部品画像を選択し、それらを所望の形態に組み合わせてテンプレートを作成する。

【0042】

作成されたテンプレートは、そのままシナリオメモリ7に記憶されないで、一種のプログラム的な記述のみをシナリオメモリ7に記憶する。例えば、表示手段2の画面を2次元座標で表わし、ボタンや飾り枠の配置する位置の座標と、そこに配置する部品画像のパーツメモリ10上に記憶されているアドレスとその表示サイズとをプレゼン資料毎にまとめて1つのプレファレンスファイルとしてシナリオメモリ7に記憶させている。

【0043】

次にステップS41では表示手段1に一覧表示されたサムネイルのうち、操作者がプレゼンテーションに使用したい画像を位置指定手段8で指定する。この時、プレゼンテーションに使用する順番も合わせて指定する。なお、サムネイルを指定した順番をプレゼンテーションの順番としても良い。

【0044】

ステップS42では編集動作が終了したかどうか判断する。終了していないければステップS41を繰り返し実行する。ステップS42で終了と判断したとき、ステップS43に進み、指定したサムネイルの素材メモリ1上のアドレスとその順番をシナリオメモリ7のプレファレンスファイルに記憶したテンプレート情報に追加記憶する。この指定したサムネイルの画像を貼り付けるテンプレート上の

位置は選択した飾り枠により指定されているので、この時指定する必要はない。

【0045】

以上でステップS6の一覧編集動作を終了し、ステップS3に移行し、プレゼンテーション表示を行い、操作者が出来栄えを確認する。

【0046】

また、前述のステップS4で一覧表示ボタン14が指定されていないと判断したとき、表示終了ボタン15が位置指定手段8で指定されたかどうか判断する。

【0047】

該ステップS7で表示終了ボタン15が指定されたと判断したとき、ステップS8に進み、表示制御手段6の動作を終了させ、表示動作を終了する。

【0048】

なお、ステップS7で表示動作終了ボタン14が指定されていないと判断されたとき、すなわち無効な指定操作があったときは、ステップS2に戻り、次の操作まで待機する。

【0049】

前述の実施例では、素材メモリ1内に記憶している画像情報として、静止画や動画としていたが、本発明ではこれに限らず、QuickTime VRの形式やVRMLの形式で作成された3Dデータも記憶させ、パノラマ画像等を表示を一覧表示手段5で表示手段2に縮小表示させるようにしても良い。

【0050】

また、シナリオメモリ7には、プレゼン資料毎に表示を構成する取り込む画像情報やそのサイズ、及び取り込み位置などを記述したプレファレンスファイルを作成し、記憶させているが、本発明はこれに限らず、画像を取り込んだテンプレートをビットマップやGIFファイルなどの1つの画像ファイルとして作成し、シナリオメモリ7に記憶させるようにしても良い。

【0051】

また、前述のステップS6で指定する画像情報の代わりにフォルダをしてしたときは、ステップS43で指定したフォルダ内の画像をテンプレートに取り込むとき、テンプレートの階層構造をフォルダの階層構造と同じにして取り込むよう

にすればなお良い。このことで、フォルダ作成時に階層構造を決めて記憶させておけば、後のプレゼン資料作成の手間が大幅に省けるものである。

【0052】

また上記階層構造を指定してプレゼン資料を作成するとき、階層構造の分岐画面となるテンプレートには、別の階層へ移るときに指定するボタンの数を、階層構造の分岐数に合わせて自動的に決定し、配置されるようにすればなお良い。この時、配置されたボタンには分岐先のフォルダに付されたフォルダネームが取り込まれてボタン内に表示され、さらにボタンにその分岐先のアドレスも取り込まれ、自動的に階層リンクボタンが作成されている。

【0053】

つまり、ボタンの配置やボタンを指定したときの飛び越し先のアドレスを設定を、フォルダを指定してプレゼン資料として取り込む操作をするだけで行うので、操作者は面倒なボタンデザインの配置やリンク設定の作業から開放される。

【0054】

また、前述の実施例では、テンプレートを、素材メモリ1の画像情報やテンプレートメモリ2の部品画像情報を再構成して作成していたが、本発明はこれに限らず、任意の画像情報を縮小したり拡大したりして複数枚合成して作成するようにしても良い。

【0055】

さらに、前述の実施例では、画像情報提供資料は、プレゼンテーション用の資料作成として説明しているが、本発明はこれに限らずアルバムや図鑑などの作成編集にも使用できる。

【0056】

【発明の効果】

本発明によれば、一覧表示により、静止画と動画が混在しても容易に編集することができるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の画像情報提案装置のシステムブロック図である。

【図2】

図1中の一覧表示制御手段の詳細な制御ブロック図である。

【図3】

本発明の画像情報提案装置の動作フローチャートを示す図である。

【図4】

図3中のプレゼン表示に関する動作フローチャートを示す図である。

【図5】

図3中の一覧表示に関する動作フローチャートを示す図である。

【図6】

図3中の一覧編集に関する動作フローチャートを示す図である。

【図7】

表示手段に表示される画面のうち初期画面を示す図である。

【図8】

表示手段に表示される画面のうちテンプレートに静止画を嵌め込んだ画像情報の一例を示す図である。

【図9】

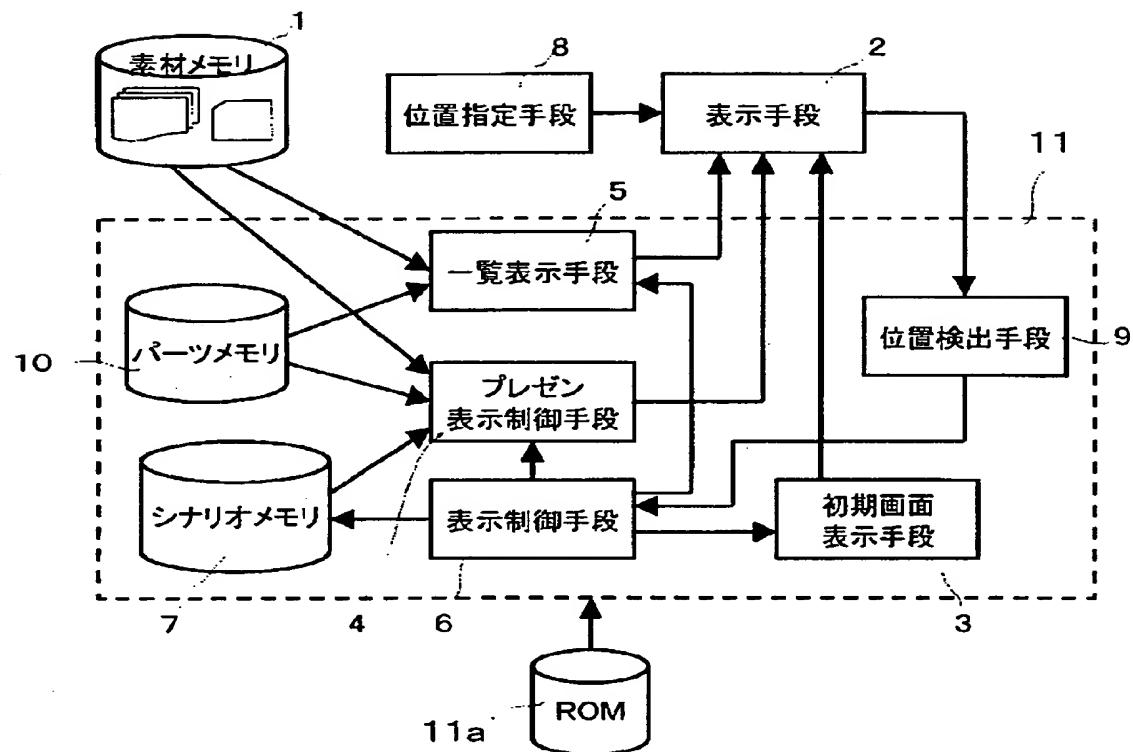
表示手段に表示される画面のうち一覧表示の画面を示す図である。

【符号の説明】

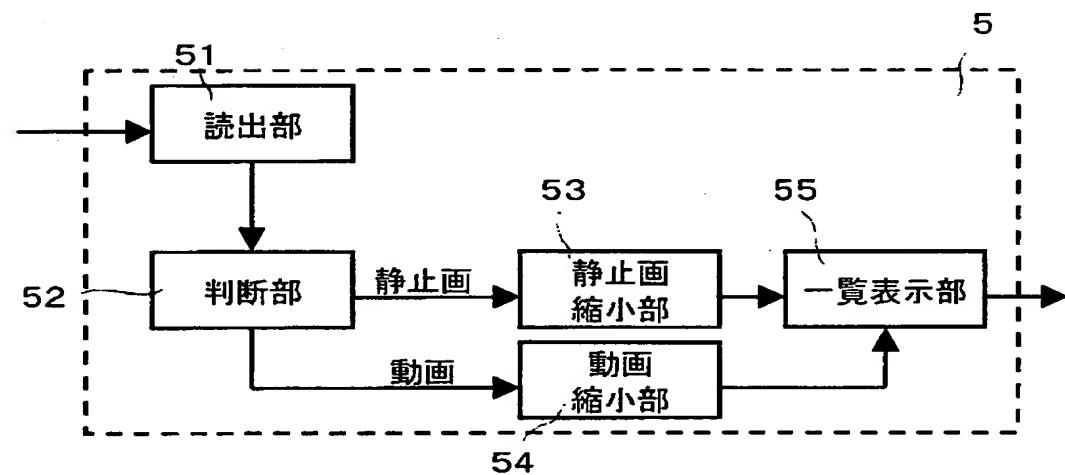
- 1 素材メモリ
- 2 表示手段
- 4 プrezen表示手段
- 5 一覧表示手段
- 6 表示制御手段
- 7 シナリオメモリ
- 8 位置指定手段
- 9 位置検出手段
- 10 制御手段

【書類名】 図面

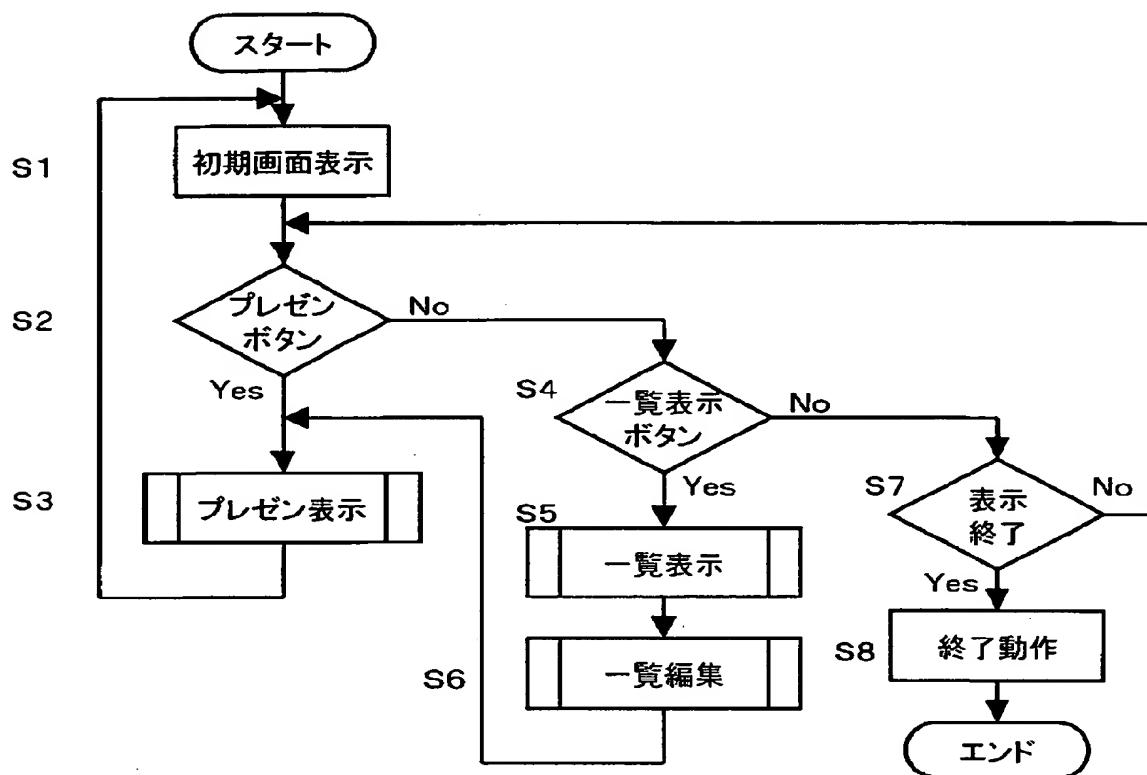
【図1】



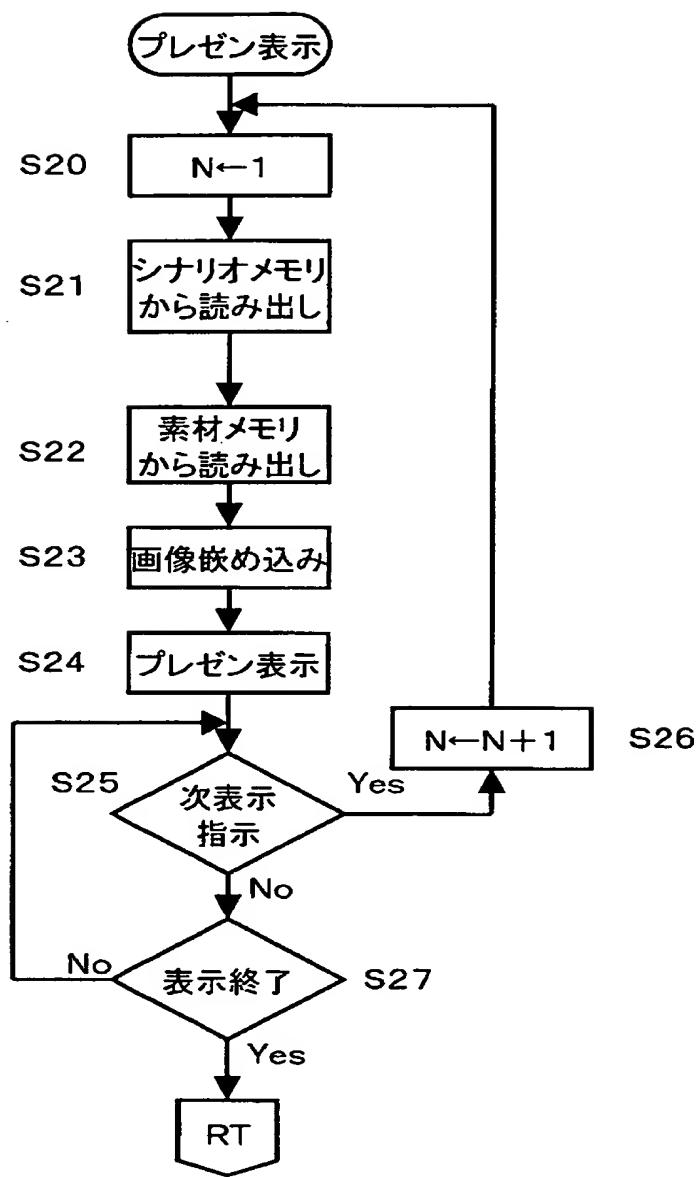
【図2】



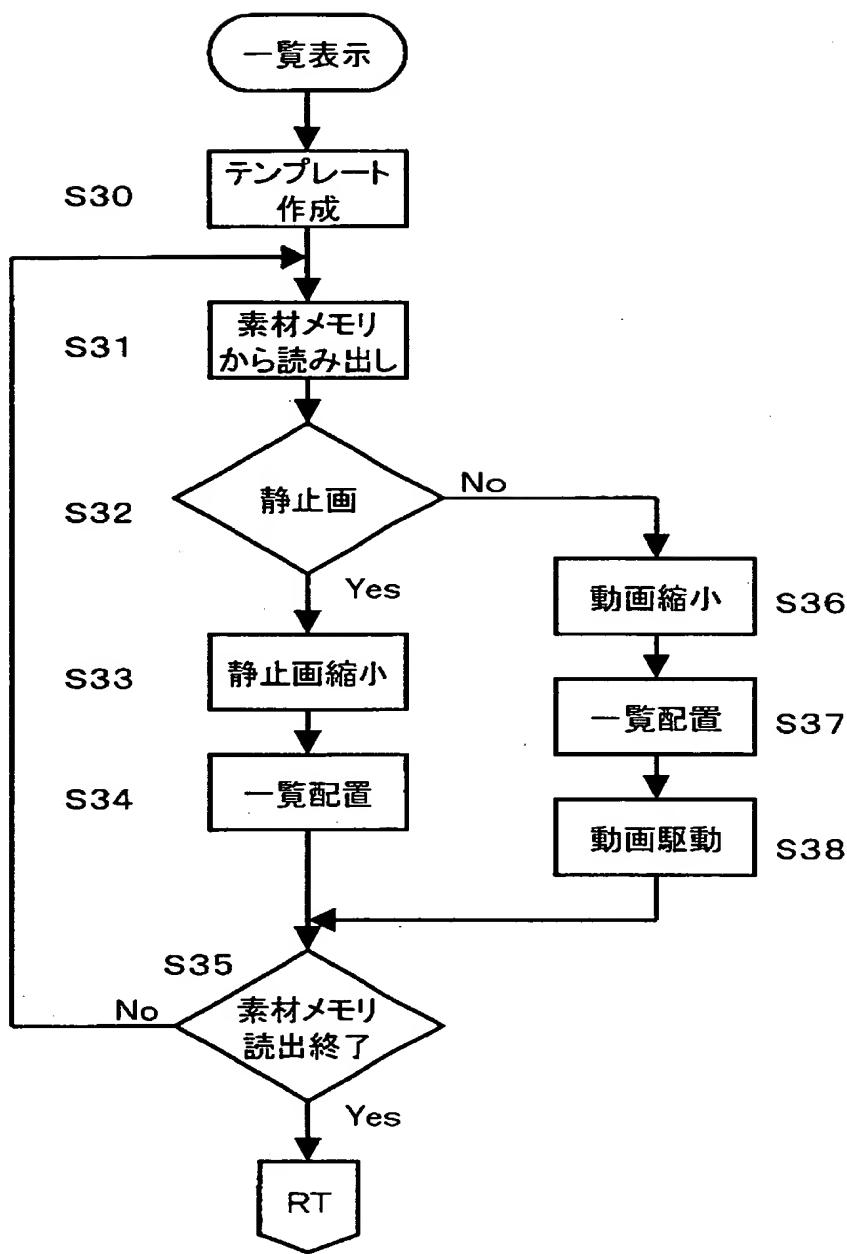
【図3】



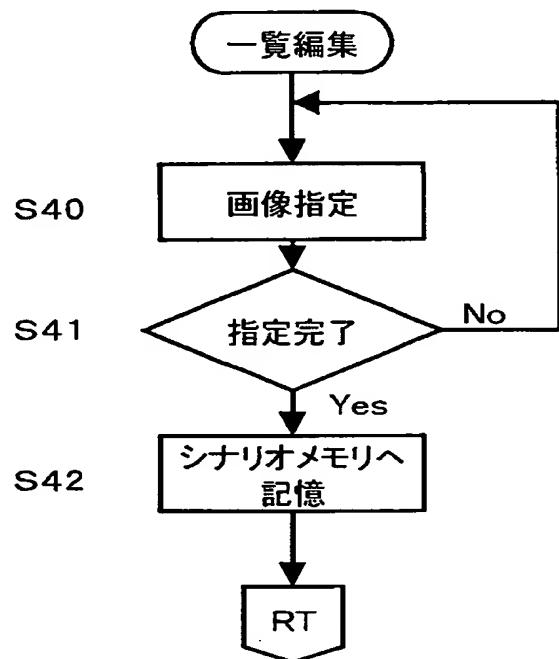
【図4】



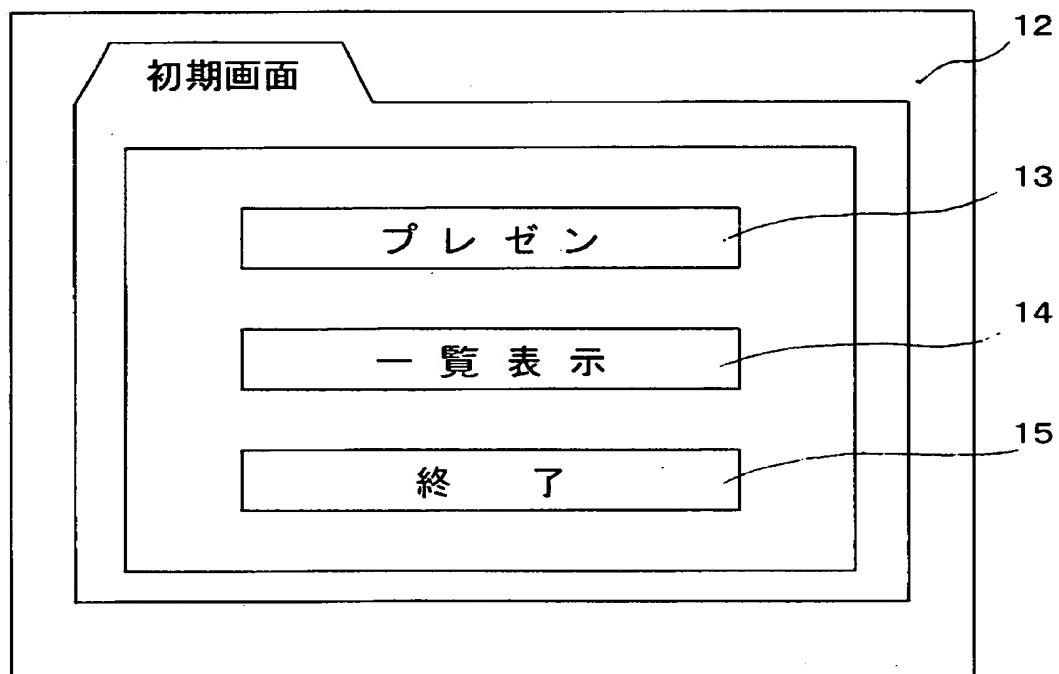
【図5】



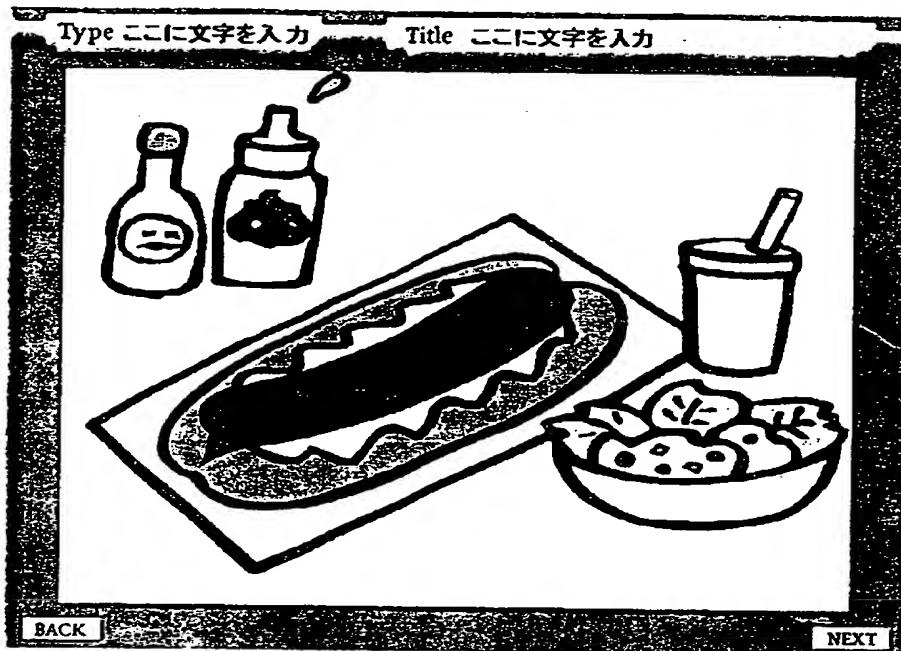
【図6】



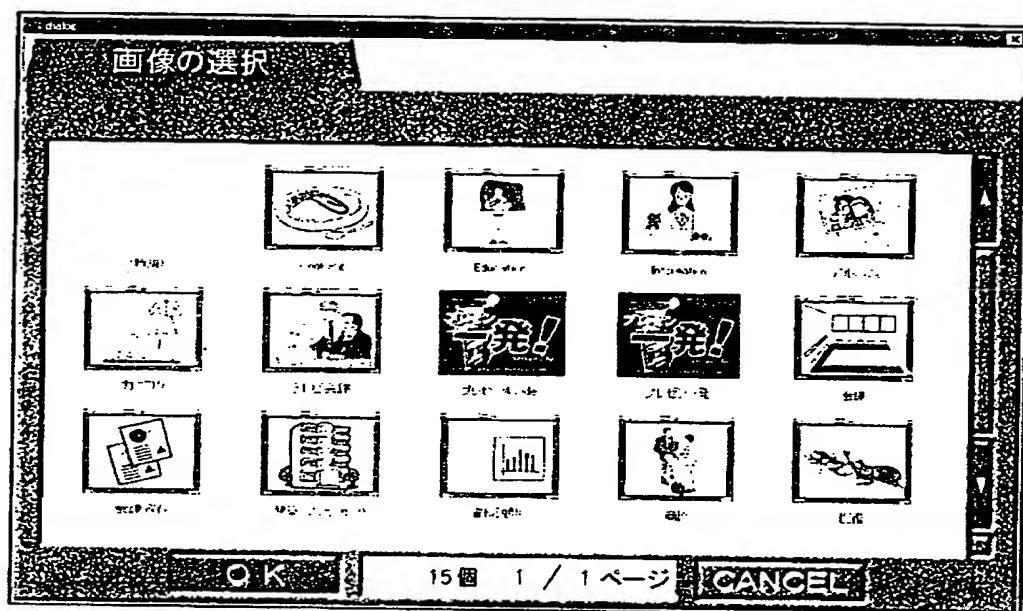
【図 7】



【図 8】



【図9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 プレゼンテーション用画像を整理、編集するために一覧表示させたとき、静止画と動画とが混在している場合は、実際に起動させて確認しないと、区別がつかず、編集作業に時間がかかっていた。

【解決手段】 素材メモリ1から全ての画像情報を読み出し、一覧表示制御手段5で縮小して表示手段2に一覧表示させるとき、一覧表示制御手段5で読み出した画像情報が動画か静止画かを判断し、動画ならサムネイル（縮小画像）を一覧表示の状態で駆動させる構成である。

【選択図】 図1

【書類名】 職権訂正データ
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】 000001889

【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

【氏名又は名称】 三洋電機株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】 100076794

【住所又は居所】 群馬県邑楽郡大泉町坂田一丁目1番1号 三洋電機
株式会社 情報通信事業本部

【氏名又は名称】 安富 耕二

【選任した代理人】

【識別番号】 100107906

【住所又は居所】 群馬県邑楽郡大泉町坂田一丁目1番1号 三洋電機
株式会社 半導体事業本部 事業推進統括部 知的
財産部

【氏名又は名称】 須藤 克彦

出願人履歴情報

識別番号 [00001889]

1. 変更年月日 1993年10月20日

[変更理由] 住所変更

住 所 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

氏 名 三洋電機株式会社